

コスト調査・分析の実施検討の前提として 再度整理を要する事項について

1. 基本的視点

(1) 基本診療料と特掲診療料に分けてコスト調査・分析を行う意義

医療サービスが診察、検査、処置、手術といった行為から構成される一連の流れの中で提供されるという性質を有することを踏まえると、基本診療料と特掲診療料に分けてコスト調査・分析を行うことについて、どのように意義付けを行うのか整理する必要がある。

(2) 実際消費原価計算と期待償還原価計算

財務諸表に基づく実際消費原価計算でない客観性の確保が困難であり、期待償還原価計算とする場合は、原価データは観点の取りかた次第で変わることとなるため、各関係者が納得する客観性をどのように確保するのか考え方の整理が必要である。

(3) 医療における原価計算の必要性

一般的に製品販売価格は市場において可変的に決定される。このため、製造業等の民間企業では、価格決定等を目的として相当の費用と目的意識を持って原価計算に取り組んでいる。また、諸外国の医療制度を見ると、医療機関の開設主体の特性や費用償還制度の採用等によって、積極的に原価計算の取組みが行われている例がある。

一方、我が国の医療分野では、診療報酬が公定価格であることや、原価計算を中心とした費用償還の仕組みを採用していないこと等から、病院原価計算は未発達であり、原価データを基にした経営管理等が十分浸透していない状況にある。このような中で、次期診療報酬改定における活用を前提として短期的に集中して時間と費用を費やし調査研究的なコスト調査を行うことについて、どのように意義付けを行うのか整理する必要がある。

医療における原価計算は、当事者による経営管理目的等への活用の観点のみならず、限られた医療財源を適正に配分する観点からも充実していくことが必要であるが、我が国の現状を考慮すると長期的視点により調査研究を実施することが望まれる。

2. コスト調査の目的、コスト分析の妥当性、結果の活用方法

(1) 診療報酬(体系)の検証・コストの反映

現在の診療報酬点数は、保険診療として提供することが適当な医療サービスの価格について、医療上の必要性、保険財政の状況や保険医療機関等の経営状況等を踏まえ、2年に一度設定・改定が行われているが、高度化・多様化する医療サービスのニーズに対応するため、現状では詳細かつ複雑多岐にわたる項目立てとなっている。また、この項目全てについて、当該項目が想定する医療サービスの提供に必要な投入資源コストを個別に測定・評価しているものではなく、これまでの累次に渡る診療報酬改定の結果を反映したものとなっている。

医療サービスのニーズへの対応といった政策的課題やわかりやすい保険制度とする必要性といった観点から診療報酬点数の設定・改定の際の透明化、一連の医療サービスの提供に着目した包括化の検証等という課題について、コスト調査・分析結果の活用をどう考えるのか。

(2) 公定価格との関係

保険診療の性格に基づき設定されている公定価格と実際原価との乖離が生じている場合の対応は、診療報酬点数の改定により行うべきか、又は保険医療機関等の経営努力により行うべきかの検討にあたりコスト調査・分析結果を用いる際に、その使用・活用方法についてどう考えるのか。

(3) 経営管理による医業経営効率化

現行の診療報酬体系を前提とした中での価格と投入資源コストの均衡という視点にとどまらず、経営管理の浸透による医療の効率化の推進についてどのように考え、コスト調査・分析結果を活用するのか。

平成23年 月 日
診療報酬調査専門組織
医療機関のコスト調査分科会

基本診療料に係るコスト構造の把握について（報告）

標記については、中央社会保険医療協議会総会において、当分科会に対し、基本診療料（初再診料、入院基本料等）に係るコスト構造（人件費、材料費、経費、減価償却費等）の把握が可能かどうか、意見を求めることとされた。当分科会では、医療機関のコスト構造に関する有識者によるワーキンググループ（別添）を設置し、検討を行うこととしたところであるが、その報告は別紙1のとおりである。

また、基本診療料に係るコスト構造の把握については、コスト調査・分析の実施検討の前提として整理を要する事項があると考えられることから、ワーキンググループの報告を踏まえ、当分科会として別紙2のとおりコメントを作成したので、併せて報告する。

(別添)

基本診療料のコスト構造の把握に関するワーキンググループ

(五十音順、敬称略)

◎メンバー

荒井 耕 (一橋大学大学院商学研究科准教授)

※医療機関の部門別収支に関する調査実施委員会委員

五十嵐 邦彦 (公認会計士)

※決算データの活用に関する懇談会 (WG) メンバー

○石井 孝宜 (公認会計士) (座長)

(コスト調査分科会委員)

松田 晋哉 (産業医科大学医学部公衆衛生学教授)

※DPC評価分科会委員 (コスト調査分科会委員)

渡辺 明良 (聖路加国際病院事業管理部財務経理科マネージャー)

※医療機関の部門別収支に関する調査実施委員会委員

(コスト調査分科会委員)

◎オブザーバー

田中 滋 (慶応義塾大学大学院経営管理研究科教授)

※コスト調査分科会会長